

第6 1 回彩の国建設工事の入札及び契約事務適正化委員会議事概要

1 日時

平成30年11月27日(火) 午後1時30分～午後3時30分

2 場所

埼玉教育会館 104会議室

3 出席委員

青木委員、桑野委員、猪木委員、及川委員、長岡委員、宮本委員

4 審議事項及び結果

(1) 埼玉県地上系防災行政無線設備再整備工事(危機管理防災部消防防災課)

【一般競争入札(WTO)】

(質疑応答)

- 低入札の場合、品質の確保はどのようにしているか。
業者へのヒアリング、下請けへの見積などを参考にしている。工事契約後も追跡調査を行っている。
- 既存の機器の撤去処分が適切に行えるか、どのように確認するのか。
低入札価格調査制度実施要領に沿って、契約の適切な履行体制を確保している。
- 処分対象機器には、データ蓄積を行うような情報機器が含まれるのか。
一部サーバー等でデータ蓄積を行う機器もあることから、工事の中で適切に処分されることを確認している。
- 今回工事の工期は平成33年までと長期にわたるが、工事完了後に委員会等で改めて検証するのか。
低入札価格調査制度実施要領に従い、契約の適正な履行体制を確保し、それを発注機関として確認していく。外部の委員会で諮ることにはなっていない。
- 工事概要図の当初計画と今回変更計画の違いは何か。金額の差は。
当初は旧システムと新システムを一体化して更新する計画であったが、旧システムとは独立して新システムを構築する計画に見直した。金額の差は大きくない。
- 今回変更計画では、新システム構築後に旧システムが残るのか。
新システム整備完了後、旧システムは全て撤去される。
- 当初計画を策定する際に、複数のメーカーからヒアリングをしなかったのか。
防災行政無線設備の施工実績を有する業者を調査し、6者からヒアリングを行った。

(結果)

当案件の入札・契約手続きは適正に行われていた。

(2) 南部流域荒川北幹線ほか人孔蓋修繕工事(下水道局荒川左岸南部下水道事務所)

【指名競争入札】

(質疑応答)

業者選定の要件に、「営業実績を考慮」とあるが営業実績とは具体的にどのようなものか。

名刺などを参考にしている。

営業実績が名刺を参考にしていることは県全体で統一しているものなのか。

また、名刺を参考にしているものなのか。名刺を持参して事務所にみえるということは人件費がかかり、結果、工事費の増額につながることもあるのではないか。

ほかでも名刺を参考にしているところはあるかもしれない。いろいろな観点があるが、地元企業の応援にもなると考えている。

マンホール蓋だけの交換では済まなかったのか。

内蓋や受枠、鍵などの破損、腐食があると今回のような舗装切断を含む工事になる。

人孔の浮上判定の調査は行っているのか。

全ての人孔で調査し対策する予定だが、数が多いため、まずは緊急輸送道路から人孔浮上の調査を行っている。

入札結果では、6者が同じ金額で、くじ引きで落札者が決定されているが、このようなことが起きるものなのか。

設計金額が500万円弱なので設計金額を事前公表しており、最低制限価格の算出方法も公表しているため、積算金額が同額になることはある。

入札結果で、入札金額を高く応札している業者がいるのは、なぜか。

指名されているのに辞退はできないので、高く出していると思われる。

(結果)

営業実績を考慮することは、今後、内部で検討していただきたい。

(3) 29江袋第101号応急対策工事(農林部大里農林振興センター)

【随意契約(随契1号)】

(質疑応答)

大型土のうを設置していた期間は、

平成28年6月から平成29年4月まで。

変更増となった数量が当初の3倍と多い。当初の見積もりが甘かったのでは。

設置されていた大型土のうが大雨による洪水で流され散乱してしまった。当初大部分が流されてしまったものと判断し、川面から確認できた50袋の数量で発注したが、その後、河川の水位が下がったところで詳細に調べたところ、新たに111袋の土のうを確認した。しかし、別途契約は困難なことから変更契約で対応したもので

ある。

工事概要に不要のため撤去を行うとの記載があるが、不要とはどのような意味か。
この後、堰の改修工事が実施されることから、仮堰である大型土のうは不要となる。

(結果)

当案件の入札・契約手続きは適正に行われていた。

(4) 総A除) 社会資本整備総合交付金(改築)工事((仮称)中川新橋上部工)(県土整備部
行田県土整備事務所)

【一般競争入札(総合評価)】

(質疑応答)

現在、下部工(A2橋台)を施工中とのことであるが、その箇所は上部工に反映されないのか。

橋梁の平成31年度完成を目指しており、上部工が18か月かかることから、下部工とともに逆算して工事発注している。このため、下部工についても確実な品質が求められることから、総合評価方式の入札を採用し品質のよい施工を行っている。

また、下部工3基は完成しており、そこは測量して上部工を製作するため、最終的には沓座の調整で対応可能と考えている。

鉄骨工場のSグレード、Hグレードといった評価を取り入れていないのか。

事前に自社工場を持っているか確認して、十分な責任体制のとれる会社が自社工場を持っているので、ランク付けしていない。

技術評価と価格評価の割合について、重みは付けないのか。(例:高度な工事であれば、技術評価の割合を高くするなど)

技術提案型には、除算式と加算式があり、除算式は技術評価を入札価格で割り、加算式は価格評価点と技術評価点を足し合わせて算出する。設計金額(1億円)で区別している。個別案件ごと評価の重みは設定していない。

(結果)

当案件の入札・契約手続きは適正に行われていた。

(5) 平成29年度県発注工事に係る抽出工事について(追加)

(質疑応答)

なし

原案の2件は【抽出工事一覧】のとおり決定した。

【抽出工事一覧】

- ・ 北部流域処理場2系水処理電気設備改築工事
(随意契約2号、下水道局荒川左岸北部下水道事務所)
- ・ 055街路整備工事(吉川橋仮棧橋工)
(随意契約6号、県土整備部越谷県土整備事務所)